

PCSA アクションレポート（人事問題研究部会）

令和 1 年 9 月版

第 185 回人事問題研究部会

開催日時 令和 1 年 9 月 13 日（金） 午前 11 時～午後 3 時
開催場所 TKP 上野駅前ビジネスセンター 8A
出席人数 部員 8 名、合計 8 名
出席者 <リーダー>
志賀 健太郎 株式会社ニラク 人財開発部 人事労務グループマネジャー
<サブリーダー>
木内 克宏 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部
<部員>
長岡 敏之 株式会社ダイナム 人事部 人事労務担当
今井 宏行 夢コーポレーション株式会社 事務職
久保 龍也 株式会社合田観光商事 人材開発部 人事企画・労務管理課 次長
塩田 英紀 株式会社ヒカリシステム 東寺山店 ストアマネジャー
中澤 直樹 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 組織戦略部 部長
川口 治 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 組織戦略部 係長

1) 9 月 台風 15 号 影響について

<概要>

令和元年台風第 15 号は、2019 年 9 月 5 日に発生した台風。関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力で 9 月 9 日に上陸し、千葉県を中心に大きな被害を出した。

<意見>

- ・台風の影響で、店の看板が倒れてしまった。警察に通報したが緊急性が低いと判断された。幸い、自店舗は電気も水道も問題なし、人的被害もなし。翌日も周辺地域の停電は継続しており非常に影響が大きかった。
- ・今日で全店通常営業になった。停電と屋根が吹き飛んだのが 2 店舗。また、雨水を電気ポンプで排水していた店舗が停電になり影響が出た。また、従業員の住居に被害があった。人的被害はなし。
- ・人的被害はなし。該当地域の店舗が 2 日間停電したが、復旧してから営業を再開した。後は、従業員の自宅の停電などが発生した。
- ・1 店舗が被害にあった。また一般的には千葉市や木更津市、館山市、南房総が台風の被害を受けている。
- ・各社、人的被害がほぼなかったのは幸いであった。
- ・大阪の拡大部会で議題に挙げた大規模災害の話が今回の台風の対応に役立ってくれば良い。

2) 11 月拡大人事問題研究部会 in 愛知・女性活躍推進情報交換会

<概要>

開催日：11 月 7 日（木）～8 日（金）

開催場所：愛知県

目的：女性活躍推進情報交換会 開催、めいほうぐるーぷ 訪問

スケジュール：1 日目 託児所訪問見学、めいほうぐるーぷ本社 見学、講演、ディスカッション、発表

2 日目 夢コーポレーション株式会社 本社訪問、社内見学、拡大部会
（前日振り返り、質問コーナー）

特記：女性活躍推進の取り組みを積極的に進めている、めいほうグループ様の訪問を依頼し御快諾頂いた。

<意見>

- ・めいほうグループへの訪問をメインに計画している。
- ・めいほう曙店の隣の託児所を見学させていただきたい。
- ・愛知で開催する目的の一つとして、普段は参加しづらい PCSA 会員の人事労務担当者の参加を促す。
- ・参加者から募集する質問の内容を、通常の人事労務にするのか、女性活躍推進に傾けるのか。
⇒ 両方の質問を募集する。
- ・開催案内は、PCSA 正会員、賛助会員、特に東海地方に本社を置く PCSA 正会員企業に送る。

3) 2 月拡大人事問題研究部会 in 大分・健康経営勉強会

<概要>

開催日：2 月 13 日（木）～14 日（金）

開催場所：大分県

目的：健康経営勉強会 開催、ビープラスグループ株式会社 訪問

状況：厚生労働省の「安全衛生優良企業公表制度」（通称：W マーク）を取得したビープラスグループ株式会社様の訪問を依頼、御快諾いただいた。

訪問スケジュール案：

日程	時間	場 所	内 容
2/13 (木)	14:00	案①JR 大分駅集合 案②本社 現地集合	案①の場合、徒歩 or タクシーで移動 案②の場合、各自移動。時間 15 分繰り上げ
	14:15 ~ 14:30	ビープラスグループ様 本社	本社見学 (執務スペース、休憩室等の見学)
	14:30 ~ 15:30	貸会議室 (本社ビル内)	ビープラスグループ様 講演内容 講演 40 分・質疑応答 20 分 ・会社概要、企業理念（人材育成方針等） ・安全衛生・健康経営に関する具体的な取り組み ・「安全衛生優良企業認定」取得の経緯と現状
			ディスカッション（ビープラスグループ様も参加） ・講演の感想、気づきの共有 ・各社の安全衛生・健康経営の取り組み共有
	15:45 ~ 17:00		各自ホテルチェックイン
	18:30 ~ 20:30	JR 大分駅周辺	情報交換交流会（懇親会）
2/14 (金)	10:00	JR 大分駅	集合
	10:20 ~ 11:40	ELGRAN 明野本店	・ホール見学（10 分） ・事務所、バックヤード見学（15 分） ・店舗概要説明（5 分）

			・質疑応答（45分） 安全衛生・健康経営の店舗での取り組み その他人事関連の質問 （勤怠システム、勤務シフト、アルバイト採用、教育システム等）
	12:00	JR 大分駅	解散

4) 戦略人事ツール「ヒトマワリ」プレゼンテーションについて

<概要>

- ・戦略人事ツール「ヒトマワリ」のプレゼンテーションを部会にて開催するか否かを検討。
- ・評価や適性検査を持ち込んで、人事異動シミュレーションなどが可能なシステム。
- ・企業名：株式会社グローバンス <https://www.hitomawari.jp/>

<意見>

- ・「管理部門の人員が削減できた」「売り上げが上がった」などの導入事例や成功事例を聞きたい。

<結論>

- ・来月の部会、10月11日（金）のAM11時から30分間に開催する。なお、質疑応答含む。

5) 人事問題研究部会 質問コーナー 2019.9

Q1：消費税増税に対してどう対応しているか？ 人事的

An：10月以降に購入した定期代を申請させている。また、次回以降から通勤費を改定すると通知。

An：社宅の自己負担分（駐車場代、レオパレス管理費）の消費税増税分は自己負担と通知。

An：実費があがればそれに対応している。

An：前給の手数料の変更等を案内予定。

An：定期と切符はアナウンスする可能性あり。

An：車は年1回しか更新していないので増税分は来年から対応する。

An：システムの改修の進行を確認している。

An：取引先とのやり取りでもらう領収書に関して周知している。

Q2：有給休暇取得について

Q：① 職種別取得状況、② 5日付与義務付け対策 取得ルール、③ 有給管理方法の資料を頂きたい。

当社状況 ① 社員6日以上全員取得 その他の職種：本人の申出により取得 お子さんの看病等が多い

② 下期実施にむけ、ルール決め ③ 有給ママという簡易なソフトのため、見直し必須

An：1. 資料送付

・人事問題研究部会 議事録抜粋 20190308

・04-B_有給休暇5日取得

・04-B2_有給休暇5日解説

2. 労政時報 3959号 記事

・特集 1 年休の取得促進策 ・企業事例年休督促新の取り組み ・実務に役立つ法律基礎シリーズ 年次有給休暇 他

3. 労政時報 3975号 記事

- ・特集 1 2018 年度労働時間総合調査 ・特集 2 平成 31 年 4 月施工 年 5 日の年休取得義務への対応 ・実務解説 企業の実態に合わせた年休取得促進策のポイント 他

Q3：定年退職後の再雇用制度について

Q：定年退職後の再雇用制度について、過去の資料。

2018 年 3 月ダイナム様の最大 70 歳まで 嘱託社員延長について。

70 歳を超えて継続雇用している企業はいるか？

当社状況 65 歳定年 70 歳まで 1 年更新の嘱託契約 ※パートさんも 70 歳上限

An：定年の年齢を段階的に引き上げている最中。元々は 60 歳を今は 62 歳、今後は 5 年くらいかけて 65 歳まで上げる予定。基本給は維持、転勤に絡む手当はなしで面談を実施している。現在 65 歳を超えている社員はいないがアルバイトであれば 70 歳が在籍。契約更新の際に健康状態などを尋ねている

An：60 歳が定年。65 歳まで嘱託。それ以降は時給となる。

An：定年 60 歳。再雇用は嘱託が何名かいる。給与は下がる。明確なルールではなく個別対応に近い。

An：準社員は 70 歳までが上限。正社員は現状 60 歳定年。定年後は 1 年ごとの契約更新。元が本社勤務でも、更新して近くの店舗庶務などに行く方もいる。清掃には 65 歳を超えている方は多いが、ホール業務では 54 歳位が一番上。

An：社員の定年 60 歳、再雇用で 1 年ごとの契約。パートは 65 歳を上限。清掃担当だけは 70 歳までとしている。一方、店舗からは上限を上げてくれという要望もある。5 年前までは特に制限をしておらず 82 歳が在籍していた。

An：社員 60 歳定年で、65 歳まで継続雇用。人によっては 65 歳以降も 1 年契約で在籍する方もいる。PA は、有期雇用は定年無し。無期雇用は社員と同じ。店舗には 71 歳のアルバイトも在籍しており健康状態を確認している。

6) 各社トピックス

1. 株式会社ダイナム タイムロック機能付の金庫を導入 ～犯罪を抑止し地域の安全安心を守る～
2019 年 7 月 16 日 株式会社ダイナムは総合的な防犯・安全対策の一環として、タイムロック機能の付いた生態認証式金庫の導入を開始した。
2. 株式会社ダイナムジャパンホールディングス 航空機リース事業を本格始動
2019 年 7 月 23 日 グループ会社の DAIL は、株式会社 FPG 信託とエアバス A320 の売買契約を締結し、株式会社 FPG 信託およびブエリング航空とエアバス A320 のリース承継契約を締結、航空機リース事業を本格的に始動。
<意見>
 - ・減価償却が取れ、更に売り払う際も値下げ幅が少ないと聞いている。
 - ・こういった事業は、通常複数社が投資しあってやる事例が多い。
3. 株式会社ダイナム RPA 導入により年間 4,884 時間を効率化
2019 年 8 月 22 日 株式会社ダイナムは、2018 年に導入した RPA を活用し、株式会社 DTS と協業で年間 4,884 時間の業務効率化を実現。
<意見>
 - ・4,884 時間は、年間 2 人分の労働時間に相当する。
 - ・以前に受講した株式会社クレオだとバックグラウンドで作業が可能だったが、株式会社ダイナムはフォアグラウンドで夜間に稼働させている。

・各部から扱える人を出して使えるようにしており、情報システム部、分析チームが主導。

7) 労政時報勉強会「従業員の受動喫煙対策」

<概要>

健康増進法の一部を改正する法律の改正の趣旨は、望まない受動喫煙をなくすこと。多数の人が利用する施設等における喫煙の防止策では、パチンコホールは、多数の者が利用する第二種施設に相当する。その為、原則屋内禁煙、または喫煙可能な場所である旨を提示する事により店内で喫煙可能のどちらかとなる。従業員に対する受動喫煙対策では、20歳未満が喫煙可能場所に立ち入りをさせないようにする。また、従業員を募集する際にはどのような受動喫煙対策を講じているか、募集や求人申し込み時に明示義務が課される。

<意見>

- ・本社では紙巻きたばこを禁止、加熱式のみ許可。また、吸わんデーを設定、加熱式タバコも禁止。来年4月には、店舗でも紙巻きたばこを禁止。喫煙室がある店は風量規制などで今後順次対応していく。
- ・店舗では、喫煙室はあるが、紙巻きは禁止、加熱式タバコのみ可能。
- ・大きめの店舗では休憩室で対応可能だが、中には休憩室自体がない場合もあり対応に苦慮している。
- ・バックヤードの休憩室に喫煙室がある。
- ・喫煙室、ブースを完全密室にするのはいろいろ問題があるので、ガラスを多用すると良い。
- ・20歳以上でも受動喫煙を嫌がる人が出てくれば、この20歳以下と同様の対応を考えざるを得ない。
- ・グループ企業のカラオケボックスでは、飲食と喫煙が狭いスペースで困難になった為対応に苦慮している。
- ・今年の4月に発足した「禁煙推進企業コンソーシアム」に、6月に加盟した。入会時約15万円、イベントのたびにかかる費用を参加者で按分する形態。様々な各社の対応事例を共有出来る。

<次回 労政時報勉強会>

担当 株式会社合田観光商事 久保 龍也 部員

テーマ 同一労働同一賃金

8) 次回開催

開催日：令和1年10月11日（金）

時間：午前11時～午後3時

開催場所：TKP 上野駅前ビジネスセンター 6A（6階）

以上